

古代ロマン

① 石馬 国重要文化財

石馬は国の重要文化財で、本州では唯一のもので、米子市淀江町福岡の石馬谷古墳(国史跡)に立てられていたと考えられています。古く江戸時代から「石馬大明神」としてまつられ、その後、近くの天神垣神社境内に安置されていました。昭和60年から、淀江歴史民俗資料館に展示されていましたが、現在は、再び天神垣神社境内に大切に保存されています。



② 上淀廃寺跡 国史跡

平成3年に法隆寺金堂壁画と並ぶ、国内最古級の仏教壁画が出土したところ。奈良時代初めに建立され、平安時代中期に火災で焼失したと推察されています。本来の名前は不明で「上淀廃寺」と呼ばれています。出土した壁画等は近くの上淀白鳳の丘展示館に展示されています。



③ 向山古墳群 国史跡

古墳時代後期では伯耆最大規模の首長墓群で、昭和7年に群中の岩屋古墳(1号墳)が、平成11年には、長者ヶ平古墳を除く61,082平方メートルが国の史跡に指定されています。古墳群は通称「向山」と「瓶山」と呼ばれる丘陵上を中心に、現在までに前方後円墳9基、円墳5基、方墳2基、不明1基の計17基が確認されています。



④ 岩屋古墳 国史跡

向山丘陵の最も北側に位置する、全長52m、後円部径30m、高さ6m、前方部20mの前方後円墳で、二段築成(後円部の墳丘には葺石が巡らされていました。円筒埴輪、形象埴輪(人物・馬・水鳥)、鉄刀、馬具などが出土し、6世紀後半に作られたものと考えられています。



⑤ 妻木晩田遺跡 国史跡

平成11年に国の史跡に指定されました。大山町と米子市にまたがる遺跡で、弥生時代に大山山麓に存在したであろうクニの中心的大集落であったと考えられます。弥生時代中期末から古墳時代前期にかけての、竪穴住居跡、掘立柱建物跡、また四隅突出型墳丘墓などの墳墓や環壕など、貴重な資料がたくさん発見されました。



⑥ 淀江台場跡 国史跡

昭和63年に国の文化財史跡に指定されました。江戸時代末期である文久3年(1863年)、外国船の襲来に備えて、松南徹翁が私財を投じて築造し鳥取藩に献上したものです。長さ約60mもの土塁が残っていますが、当時はこの土塁の上に大砲3門が備えつけられていました。佐陀川河口に標的を置いて射撃訓練を行っていた記録があり、射撃距離は4kmぐらいあったようです。



⑦ 上淀白鳳の丘展示館 観光施設

上淀廃寺に存在したと思われる金堂や仏像が復元され、約100点の出土品なども展示されています。金堂は約70㎡の原寸大で、金堂内部の4面の壁には破片から復元した仏教壁画があしらわれ、同じく出土した破片を元に釈迦如来像と2体の菩薩像も復元されています。



⑧ 伯耆古代の丘公園 観光施設

高さ15mの高床建物や、弥生時代の一般的な住居を復元した竪穴住居、104体の復元埴輪の並ぶ「はたて貝式古墳」などがあります。また、古代ハスの園では、推定2000年前のものといわれている「大賀ハス」など40種類のハスが、6月下旬から8月にかけて池いっぱい花を咲かせます。



名水

名水百選 ⑨ 天の真名井

「真名井」とは神聖な井戸を表し、その中でも最上級の敬称が「天の真名井」で、その名に恥じぬ清らかな水は、環境省の名水百選に選定されています。湧水量は日量2,500トンを誇り、生活用水、農業用水などに広く活用されています。泉の周辺にはカヤ葺きの水車小屋、東屋、遊歩道があります。



因伯の名水 ⑩ 本宮の泉

日量30,000トンを出す豪快な名水で、昭和60年に鳥取県の「因伯の名水」の「暮らしの中の泉」に選定されました。飲んでおいしだけでなく、かつてはニジマスやコイなどの養殖もかんでした。また、亜熱帯植物クリハランの県西部唯一の自生地としても有名です。



物産館

⑪ 白鳳の里 淀江ゆめ温泉 温泉 物産館

白鳳の里では、自家工場で仕込む名水豆腐を製造しているほか、名産・おみやげも販売しています。隣にはアルカリ単純泉の淀江ゆめ温泉があります。周辺では菜の花やコスモス、スイセンなど四季を通じて草花を楽しめます。



【淀江ゆめ温泉】
 ◎ 10:00~22:00
 入浴 10:30~21:00(受付終了)
 ◎ 毎月第4水曜日(祝日の場合は翌日)
 休 年中無休(臨時休館あり)
 ※年末年始も休まず営業
 ■入浴料
 大人700円・中高生600円・小人400円
 ☎ 0859-56-6801

【どんぐり館】
 ◎ 物産コーナー 10:00~18:00
 レストラン 11:00~15:00
 ◎ 年中無休(臨時休館あり)
 ※年末年始も休まず営業
 ☎ 0859-56-6798

⑫ 淀江どんぐり村 物産館

本宮展望駐車場の一角にあり、絶好の景観の大山を楽しめます。山小屋風の館の前庭には名水「本宮の泉」から汲み上げられた湧水が流れ、レストランでは手打ちどんぐりうどん・そばなどが味わえます。また、「ときめき市」では、おいしい水で育った葉わさびやクレンソウ、とれたて野菜やくだものが並びます。



☎ 0859-27-6098

◎ 10:00~16:00
 (土日祝日は17:00まで)
 ◎ 木曜日(祝日の場合は営業)
 年末年始

伝統・祭事

⑬ 和傘伝承館 技術伝承

淀江傘の歴史は古く、文政4年(1821年)に倉吉から淀江にきた倉吉屋周蔵が傘屋をひらいたことによるといわれています。昔は西日本有数の和傘の産地でもあり、砂浜に数千本の傘が一度に干される風景も見られました。現在は「淀江傘伝承の会」の皆さんによってその工程が実演され、ギフト用に販売もされています。



☎ 0859-56-6176

◎ 9:00~17:00 ※要予約
 ◎ 日・月曜日・祝日・年末年始
 ■入館料/無料

⑭ 上淀の八朔綱引き 伝統行事

豊作や無病息災を祈願して綱引きを行う行事で、米子市淀江町福岡の上淀地区で9月の第1日曜日に行われています。薬(わら)でクチナワサと呼ばれる大蛇を作り、住民が担いで天神垣神社境内に祀った荒神の神木の周囲を回り、その後集落に移動して綱引きを行なって豊作を占い、最後はクチナワサを村境に安置します。全国的にも類例が少なく、鳥取県や兵庫県但馬地方に伝承されてきたことが知られています。



⑮ 日吉神社神幸神事 伝統行事 よいとまかせ

350年以上の伝統を持つ市指定の無形文化財です。毎年5月3日に行われる御幸行列は、大山地区の寺社奉行の行列を再現したといわれ、獅子舞や山車をあわせ200人を超える時代行列が淀江の町を練り歩きます。先導役のかけ声から、祭そのものは「よいとまかせ」とも呼ばれています。まさに華麗な時代絵巻です。



淀江さんご節 民俗芸能

約300年前の江戸元禄年間に起源を持つ郷土民謡で、三弦・太鼓・打鉦(ウチガネ)の旋律に和して賑やかに歌われ、七七五調の歌詞は安来節の元祖といわれています。全国各地の船乗衆が歌う民謡と、淀江古来の民謡が融合して誕生し、幕末から明治にかけて酒席で持て囃されて一大ブームとなり、おめでたい芸能として今に受け継がれています。



よどえ歳時記

春 3月第3日曜日
 淀江市
 4月8日
 壺瓶山(坪上山)の33番観音霊場の札打ち
 5月3日
 日吉神社の神幸神事
 5月初旬
 新茶摘み(壺瓶山)
 米子市イメージキャラクター「ヨネキース」

夏 6月頃から
 梅花藻見ごろ
 (天の真名井、本宮の泉周辺)
 7月頃から
 古代ハス見ごろ
 (伯耆古代の丘公園)
 7月8日
 中間の庚申堂の御開帳
 7月9日
 精明寺の金比羅大祭
 7月27日
 小波の塩川大祭
 7月海の日
 えびす祭り

7月中下旬
 皆生ドライブスロン
 (バイクコース)
 8月14・15日
 盆野球
 (校区内対抗野球大会)
 8月15日
 盆踊り花火大会
 9月第1日曜日
 上淀の八朔
 9月の休日
 サイクルカーニバルinYODOE
 9月の休日
 町民音楽祭

秋 秋期
 美水の郷
 古代ロマンウォーク
 10月頃
 コスモス街道
 (宇田川地区の沿道)
 10月の休日
 地区運動会
 (淀江、宇田川、大和)
 10月の休日
 よどえ夢まつり
 (淀江町産業祭)
 10月17日
 幼児泣き相撲
 (日吉神社秋季祭)

冬 11月
 原原の上上
 (浜・五軒塚地区)
 11月
 文化祭
 (淀江公民館、宇田川分館、大和分館)
 12月15日
 道祖神の祭日
 (各地区)
 1月3日
 高井谷ビシャモン堂の祭日
 閏年の2月
 中西尾・富繁の荒神講
 2月
 町民親睦芸能・カラオケ大会

● 米子市淀江町地域に関するお問い合わせ
米子市淀江支所 よどえまちづくり推進室
 〒689-3492 鳥取県米子市淀江町西原1129-1
 米子市ホームページ▶ <http://www.city.yonago.lg.jp/>

TEL **0859-56-3164** 平日(月~金)8:30~17:15
 ※祝日は除く
 FAX **0859-56-5201**
 e-mail **yodomachi@city.yonago.lg.jp**
 米子市観光協会ホームページ▶ <http://www.yonago-navi.jp/>